



チックシベツ

教育目標
 たくましい身体の子
 ねばり強く働く子ども
 進んで学ぶ子ども
 美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 11月1号（令和元年11月7日）【発行責任者 上杉 晃弘】

子どもたちを守るために

10月28日（月）に秩父別町教育研究会の活動で合同研修会を行いました。今回は、講師の方をお招きして、講演会を実施しました。

講演会の表題は、「組織的ないじめ問題への対応を実現するために」でした。具体的に起こったいじめに対して、「学校としてどのような対応をしたのか。そして、どのような道筋で解決に向かっていったのか。」という内容の講演を聞かせて頂き、組織的に対応することの大切さを再確認しました。

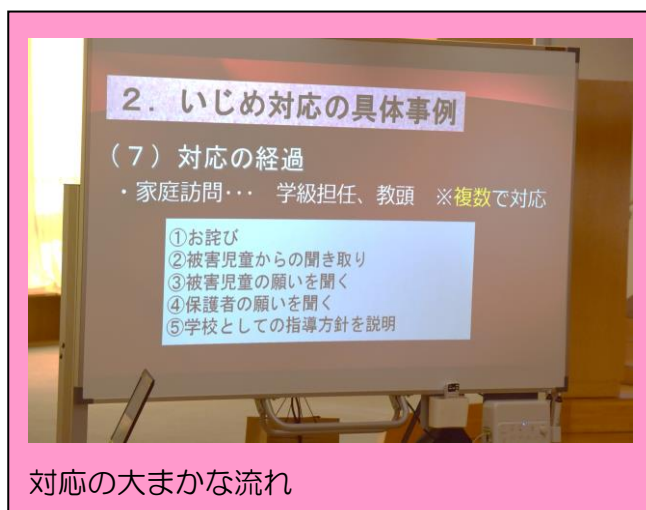
当然大切なことは、いじめの未然防止・解決への取組・再発防止になります。近年のいじめの定義は、「いやな思いをさせられる」ということになっており、これは日常生活に起こる出来事だと感じています。

秩父別小学校では、それぞれの教職員が子どもたちへの心のアンテナを高く張り、たくさんのコミュニケーションをあらゆる場面で図っていきます。そして、いつも子どもたちの心の声を聴ける柔らかく温かい雰囲気、子どもたちと接することで、子どもたちが安心して通える学校づくりを目指していきます。

保護者の方々からも、子どもたちの細かい変化があり気になることがありましたら、学校や各担任の方に連絡いただきたいと思います。よろしく願いいたします。



三部会合同研修（講演会）



対応の大まかな流れ

教育相談週間

秩父別小学校では、子どもたちの笑顔にあふれる親和的な学級づくりを心がけています。また、子どもたちの不安や悩みのサインを見落とすことのないように子どもたちの姿をしっかりと見ることに努めています。

昨年度からスタートした教育相談週間では、各担任が子どもたち一人ひとりとゆっくりと話すことで、子どもたちの抱えている悩みの相談にのり、よりよい学校生活を過ごしてもらうことを目的にしています。（裏面へ）



ジャック・オ・ランタン点灯式

10月下旬から実施していた「いやなことアンケート」を受けて、各担任が子どもたち一人ひとりから聞き取りをする教育相談を行っていました。今回の子どもたちの声を受けて、より子ども一人ひとりに適した関わりと指導を進めていきます。

ジャック・オ・ランタン点灯式

10月30日(水)には、ジャック・オ・ランタン点灯式を行いました。今年度も親父の会の会長である中西様からカボチャを提供して頂きました。

各学級で、大きなカボチャの装飾や仮装などの取組があり、体育館の中は素敵なお祭りのようでした。

暗がりの中で灯されたろうそくの炎で照らされたジャック・オ・ランタンはとても神秘的できれいでした。

ありがとうございました。

ありがとうございました

10月12日(土)PTA秋の資源回収が行われました。今回は総勢31名での作業になりました。天候にも恵まれ、青空の中で行われた資源回収でした。参加者の皆様、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

秋の資源回収の収益金は、87,305円になりました。今回の収益金は、以前のPTA役員会で決定したとおり、少年団に所属している子ども一人ひとりのために使用して頂ければと思っております。一人あたり2000円ずつになりますが、それぞれの少年団の父母会の代表者を通じてお渡し致します。

今回の対象は、本校の子どもたちが所属している秩父別タイガース少年団(野球)・北竜町真竜ライオンズ(女子バレー)・深川バレー少年団(男子バレー)・妹背牛ミニバス少年団の秩父別父母の会となっております。

公開研究会

以前にもお知らせさせて頂きましたが、11月11日(月)に秩父別町教育研究会指定の公開研究会を秩父別小学校で行います。

授業公開は、4校時(1年道徳・3年国語・5年国語)と5校時(2年国語・4年国語・6年プログラミング教育)になっております。昨年度からスタートした研究のあゆみと日常から積み上げてきた各学級の学習の姿をご覧頂きたいと考えております。

この日は、緑のナポリタン給食も予定されています。秩父別町の名物も食べて、これまでの研究の成果を発揮し、充実した研究会にするとともにこれからの研究の道標になるような時間にするつもりです。

お忙しい中と存じますが、たくさんの保護者の方々にいらしていただけると、嬉しい限りです。よろしくお願い致します。

